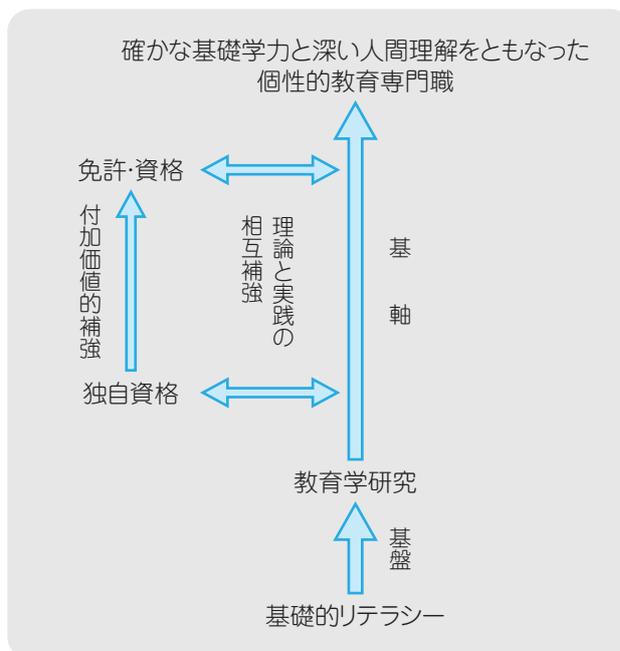


確かな基礎学力と深い人間理解をともなった個性的教育専門職を目指すのが、教育学部のカリキュラムの考え方です。



教育学部の入学生は、入学後、1年間は本格的な教育学研究や免許・資格の取得に必要な基礎学力を確立したり、自らの可能性や学びたい分野を探索する大学生活の助走期間として設定されています。

第2セメスター以降には、教員との綿密な相談によって自らの進路に即した学習プログラムを決定し、4年間の学習計画を作り上げていくことが求められます。

学習プログラムの組み合わせの仕方は学生の希望の数だけありますが、代表的な学習計画として、卒業後の進路に応じた次のようなプログラムが設定されています。

履修モデル

<教育学科>

プログラム	将来の進路
教育学研究プログラム	大学院進学 教育関連企業など
初等教育プログラム	小学校（全科）教諭など
幼児教育プログラム	幼稚園教諭など
社会／公民／異文化理解教育プログラム	中学校（社会科）教諭 高等学校（公民科）教諭など
体育／健康教育プログラム	中学校（保健体育科）教諭 高等学校（保健体育科）教諭など
教育未来構想プログラム	教育／文化／社会サービス ●社会教育主事 ●図書館司書 ●児童のための心の教育指導者など

履修モデル A 学校教員を目指すモデル

本学が創立以来中核にすえてきた、優れた初等中等学校教員ならびに幼稚園教諭の育成を目指すモデルです。現在でも8,000名を越える卒業生が現職教員として活躍しており、「教育の玉川」として、本学科の卒業生の最も多数を占めるキャリアです。

【志向するキャリア】

教員（幼稚園、小学校、中学校社会・保健体育、高等学校公民・保健体育）
大学院進学（教育専門職領域）

履修モデルB 高度な文化専門職を目指すモデル

近年、文部科学省の提唱する「生きる力」に見られるように生涯学習の時代をむかえて、社会のさまざまな場での教育支援、学習者支援が必要とされており、教育を専門的に学んだ人材のニーズが以前にも増して重視されています。

公務員、特に教育支援（教育委員会の社会教育主事など）の専門職や民間教育産業（生涯学習支援専門職）への就職、図書館司書などを目指すモデルです。

【志向するキャリア】

図書館・美術館・博物館・カルチャーセンターの専門職企業（放送・出版・研修・人材派遣・ホテル・教育産業）の総合職

公務員（公共団体の生涯学習モデレーター・メセナ・公益法人・社会福祉事業）

大学院進学（比較文化領域、文化政策領域、生涯学習領域、文化・メセナ振興領域、文化ビジネス領域）

<乳幼児発達学科>

プログラム	将来の進路
幼児教育プログラム	幼稚園教諭など
乳幼児保育プログラム	保育士（保育所、乳児院、児童養護施設）など
児童福祉学研究プログラム	児童指導員（児童養護施設・児童自立支援施設） 児童厚生員（児童館） 児童福祉司（児童相談所）など

履修モデル A 幼稚園教諭を目指すモデル

現在、全国各地で数多くの卒業生が現職の幼稚園教諭として活躍しており、各方面から高い評価を得ていることが、このモデルへの強い動機づけとなっています。

このモデルでの学修をとおして、幼児教育のプロフェッショナルに求められる専門的知識・技術を修得し、子どもの成長・発達、学問の進展、社会のニーズといった諸側面からの確に幼児教育を捉え、幼児教育を通じて社会文化の発展を担える専門職の養成を行います。

【志向するキャリア】

主に国公立の幼稚園の教員

履修モデル B**保育所の保育士、乳児院、児童養護施設等の専門職や幼稚園教諭を目指すモデル**

乳幼児、就学前の保育や教育に関わる専門職の育成ニーズは、いまだに増加の傾向にあります。

その理由には、就学前の保育や教育の多様化があります。少子化の一方で、女性労働の増加、一人の子どもに対する多様な保育および教育のニーズが発生しており、こうしたニーズに応えます。

【志向するキャリア】

保育所、その他の児童福祉施設（乳児院・児童養護施設等）の専門職、幼稚園、認定こども園、子育て支援施設、大学院進学（乳幼児科学領域）等

<両学科共通>

すべての学生には、卒業までに共通する要件により、特定の科目の履修が求められています。その他の科目については、各セメスターおよび4年間における各自の学習の目的に合わせて選択、登録し、履修していくことになります。

教育学部で開講される科目のほか、他学部・他学科で開講されている科目（全学部開講科目）を、一定条件のもとで履修し、卒業要件に必要な単位数に含めることも可能です。

なお、別に定める条件により、通信教育部等で開講されている科目を履修し、修得の単位を卒業要件ならびに教職課程の要件として加算することも可能です。詳細については、別途ガイダンスが行われる予定です。

卒業までに必要な単位数は、第1セメスターから第8セメスターまで、合計124単位で、その内訳、卒業要件、履修登録上限単位、学習継続条件は次のとおりです。

卒業要件

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群7単位を修得していること
- ② 教育学部の必修12科目20単位、必修選択3科目6単位以上を修得していること
- ③ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ④ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	7単位
科目群	117単位以上
教育学部必修科目	20単位
教育学部必修選択科目	6単位
選択科目	任意
計	124単位以上

1 必修科目

科目名称	単位数	開講セメスター	科目区分	備考	計20単位履修
英語リテラシー	2	1～2	導入	大学レベルの基礎的リテラシーを養います	
情報リテラシー	2	1～2	導入		
教育学概論	2	1	導入	教育学の基礎学習を行います	
教職概論	2	2	導入		
教育実践研究Ⅰ	1	3	導入	キャリア研修を主体とする教育学部独自の担任ゼミです	
教育実践研究Ⅱ	1	4	導入		
教育学基礎演習Ⅰ	1	3	発展	専門領域におけるリテラシーと研究能力の基礎を養います	
教育学基礎演習Ⅱ	1	4	発展		
教育学演習Ⅰ	2	5	専攻	特化された領域における自立（自律）的研究能力を養います	
教育学演習Ⅱ	2	6	専攻		
卒業課題研究Ⅰ	2	7	専攻	特化された領域を基盤とした大学4年間における教育学研究の集大成です	
卒業課題研究Ⅱ	2	8	専攻		

2 必修選択科目

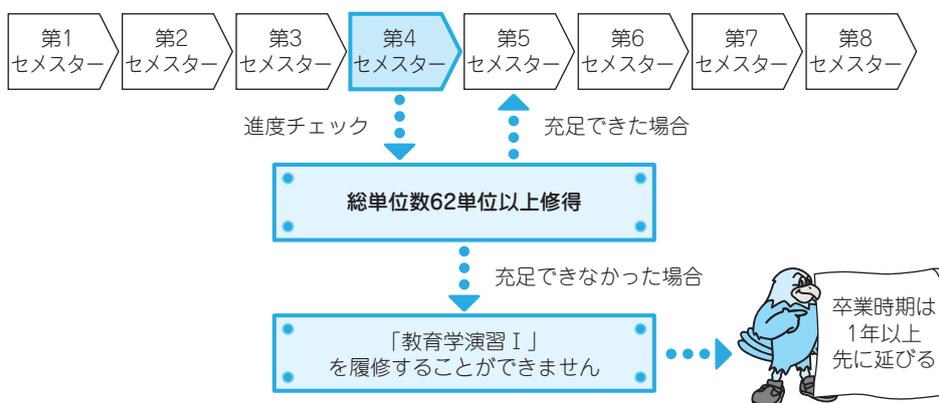
科目名称	単位数	開講セメスター	科目区分	備考	計6単位以上履修
教育哲学	2	2	導入	各専門分野の概論となる科目。3科目6単位以上を選択履修します	
教育心理学	2	2	導入		
教育史概論	2	2	導入		
教育方法学（幼・小）または（中・高）	2	2	導入		
教育社会学	2	2	導入		
特別支援教育	2	2	導入		
発達心理学	2	2	導入		
					必修選択

教育学科の学生は、「教育方法学（幼・小）」もしくは「教育方法学（中・高）」を履修、乳幼児発達学科の学生は、「教育方法学」を履修してください。

履修条件

履修条件
p. 25

1 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



履修上の留意事項

- (1) 「卒業課題研究 I・II」は、「教育学演習 I・II」の単位が認定されていなければ履修することはできません。
- (2) 「英語リテラシー」の単位認定には実用英語技能検定（英検）準2級もしくは相当（TOEFL(iBT)24点以上、TOEIC370点以上など）以上の資格を取得していることが必要となります。すなわち、学期末試験に合格し、かつ、英検準2級もしくは相当以上の資格取得という2つの条件がともに満たされることではじめて単位が認定されます。したがって、この科目の受講前または受講期間中に英検準2級以上を取得できていないとこの科目は不可となります。
- (3) 以下の科目は、各セメスターの履修登録単位数の上限16単位には含まれません。また、単位認定は次セメスター以降になる科目があります。
 - ・「インターンシップ A・B・C」
 - ・通信教育部夏期スクーリング科目
 - ・ユニバーシティ・スタンダード科目 玉川教育・FYE科目群の「玉川の教育」「音楽I・II」「体育」
 - ・ユニバーシティ・スタンダード科目「国際研究 A・B・C」

1 教育学部が認める学外での学習（インターンシップ等）の単位認定に関する規定

教育学部では、インターンシップ等免許資格取得関連諸科目を含む選択科目のうち、16単位を上限として、国内外の相当の教育機関において履修修得されたものを次ページの条件で認定しています。

履修登録単位数の制限
p. 32

単位の認定と成績評価
p. 22

2 科目履修単位修得計画の事前承認手続きの流れ



(1) 国内（在学4年間の最大6単位まで）

① 「インターンシップA」

玉川学園内のK-12の教育施設等、本学と提携している各市の教育委員会傘下の学校および私立学校での教育ボランティア活動を単位認定の対象とします。修得した単位は、教育職員免許状を取得するために必要となる「教科又は教職に関する科目」として利用することができます。

② 「インターンシップB・C」

上記の施設の他、保育所、さまざまな児童福祉施設、社会福祉施設、子育て支援関連施設でのボランティア活動を単位認定の対象とします。

認定こども園についてはインターンシップ担当に相談して下さい。

(2) 海外（セメスター上限16単位）

① オレゴン大学 (University of Oregon) およびオレゴン州内のイマージョン・スクールにおける学習および体験（16単位、8ヶ月プログラム）

◆オレゴン大学におけるESLおよびアメリカ教育文化の修得

◆オレゴン州のイマージョン・スクール（二言語教育学校）における教育ボランティア活動

*海外留学をした学生のうち、教育職員免許状等の資格を下記の組み合わせで希望する者は、4年間のうちに取得できない場合があります。

小学校1種+社会（中学1種・2種）

小学校1種+保健体育（中学1種・2種）

社会（中学1種）+公民（高校1種）+小学校2種

保健体育（中学1種・高等学校1種）+小学校2種

幼稚園1種+保育士

教育職員免許状および各種資格の登録に関する規定

教育職員免許状や各種資格を取得のために登録／継続をする学生は、免許・資格の種類やレベル（1種・2種）にかかわらず、第4セメスター終了時まで以下に以下の条件を満たしていることとします。

- ① 累積GPAが2.00以上であること
- ② 実用英語技能検定準2級もしくは、TOEIC370点、TOEFL (iBT) 24点以上の資格を取得していること
- ③ 日本語検定3級、日本漢字能力検定準2級、語彙・読解力検定2級のいずれかを取得していること
- ④ 実用数学技能検定準2級を取得していること

検定については、指定の級以上であれば可とします。

ただし、実用数学技能検定準2級に関しては、1次検定もしくは2次検定のいずれかについて、取得を希望する免許・資格種ごとに以下の資格の取得をもって替えることができます。

取得希望の免許状・資格	検定・試験
幼稚園教諭 保育士	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、ヤマハ音楽能力検定・ピアノ演奏グレード8級（Aコース、Bコースいずれも可） またはカワイピアノグレードテスト演奏6級 またはICTプロフィシエンシー検定 3級 （旧名称：パソコン検定）
小学校教諭	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、ヤマハ音楽能力検定・ピアノ演奏グレード8級（Aコース、Bコースいずれも可）、またはカワイピアノグレードテスト演奏6級 またはICTプロフィシエンシー検定 3級 （旧名称：パソコン検定）
中学校教諭（社会） 高等学校教諭（公民）	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、歴史能力検定2級 または地理能力検定試験2級 （学校地理コース） またはICTプロフィシエンシー検定 3級 （旧名称：パソコン検定）
中学校／高等学校教諭（保健体育）	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、ICTプロフィシエンシー検定 3級 （旧名称：パソコン検定）
学校図書館司書教諭 図書館司書 社会教育主事 学芸員	ICTプロフィシエンシー検定 3級 （旧名称：パソコン検定） または情報検索基礎能力試験合格

このいずれかの規定に抵触する学生は、教職免許および各種資格の受講の継続を停止または保留とします。その他、諸事情により特別な判断が必要とされる場合には、教育学部長が設置する委員会において個々に審査・判断されるものとします。

実用英語技能検定	http://www.eiken.or.jp
実用数学技能検定	http://www.su-gaku.net
日本語検定	http://www.nihongokentei.jp
日本漢字能力検定	http://www.kanken.or.jp
ヤマハ・音楽能力検定	http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/
カワイ・ピアノグレードテスト	http://www.kawai.co.jp/school/gradetest/
ICTプロフィシエンシー検定	http://www.pken.com/
歴史能力検定	http://www.rekiken.gr.jp
地理能力検定試験	http://www.chiriken.jp/
情報検索基礎能力試験	http://www.infosta.or.jp/
TOEIC	http://www.toeic.or.jp
TOEFL	http://www.ets.org/jp/toefl/

保健体育免許取得希望者の体力テストについて

中・高保健体育免許取得希望者は、1 Semester 後半に行われる「保健体育免許取得希望者体力テスト」に合格する必要があります。テストは基本的な体力・運動能力を測定する内容です。詳細については Semester 開始時のガイダンスにて説明します。

資格

1 教育学部独自付与資格（メンター）に関する規定

教育学部では、独自に付与する指導者資格（メンター）が3種類設けられています。

法律に基づく公的な資格ではありませんが、教育職員免許状や保育士資格と組み合わせて取得することによって、付加価値が生じます。

2 資格認定方法

それぞれの資格には、次のような共通の認定手続きが必要です。

- ① 各資格の認定には教育職員2種免許状以上、または保育士資格の取得を条件とします
- ② 資格取得のための各科目の単位認定条件は、B以上の成績を修めたものに限ります
- ③ 資格取得を希望する学生は、後記の科目の単位を修得した後、所定の申請書類に記入の上、教務担当の教員に提出します
- ④ 申請書類の提出後、学部運営担当者会にて可否を審議し、認定可能な場合は書類を主任会へと提出し、最終的な可否を審議します
- ⑤ 認定が決定し次第、学部長印を捺した認定証を発行し、卒業以降、郵送します
- ⑥ 認定された資格は、当該学生が中途退学をした場合、または法律・学則に抵触する著しい不行跡がなされた場合には、失効するものとします

3 認定科目

■ 共通条件……計4単位

全3種の資格認定の共通条件として、以下の4単位を履修してください。

科目名	単位	履修条件	履修単位
インターンシップA	2	必修	2
生徒・進路指導の理論と方法（幼・小）	2	必修選択	2
生徒・進路指導の理論と方法（中・高） 幼児理解と教育相談	2	必修選択	

■ 個別条件

① 児童のための体育教育指導者……12単位（計16単位）

科目名		単位	履修条件	履修単位
体育科指導法		2	必修	2
体育（幼・小）		2	必修	2
体育原理		2	必修	2
体育実技（体操）		1	必修	1
体育実技（水泳）		1	必修	1
A群	健康管理論	2	必修選択	2
	発達発達論	2	必修選択	
	体育心理学	2	必修選択	
B群	体育実技（球技Ⅰ）	1	必修選択	2
	体育実技（球技Ⅱ）	1	必修選択	
	体育実技（陸上）	1	必修選択	
	体育実技（ダンス）	1	必修選択	

② 児童のための心の教育指導者……10単位（計14単位）

科目名	単位	履修条件	履修単位
インターンシップ B または C	2	必修	2
人間関係論 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
精神保健 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
特別支援教育	2	必修	2
発達心理学	2	必修選択	2
幼児理解と教育相談	2	必修選択	
安全教育	2	必修選択	

*ただし、インターンシップは心の教育実践センターで行うこと

③ 児童のための野外活動指導者……14単位（計18単位）

科目名	単位	履修条件	履修単位
インターンシップ B または C	2	必修	2
野外教育	2	必修	2
野外教育演習	2	必修	2
国際研究 A・B・C （野外教育分野のみ）	2	必修選択	
環境教育 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
理科	2	必修	2
体育（幼・小）または体育（幼）	2	必修	2
図工 または図工（幼）	2	必修	2

*ただし、インターンシップは心の教育実践センターで行うこと